

第8回こんな長崎どがんです会（令和5年2月8日）

テーマ：女性に選ばれる長崎県づくり 参加者：8人（異業種の女性による市民グループ、地域の持続可能性の研究やまちづくりに取り組む学生）

主な意見	対応状況
<p>（これまでの地域活性化の取組から「女性に選ばれる長崎県づくり」を考 えるために大切だと感じたことについて）</p> <p>○ジェンダーギャップを解消するためには、女性が意思決定の場で発言する 機会が必要。</p> <p>女性の意見が反映されにくい社会を改善して、女性に長崎県に残ってもら うために審議会やイベントなどでジェンダーバランスを取ることが大切。</p> <p>女性が長崎に住み続けたい、長崎に帰りたと思うきっかけとなるような 体験と経験、やりがいのある仕事が必要。女性が輝く職種の創設であつた り、ポジションへの登用が、女性を長崎に引き付ける要因の一つになるの ではないか。</p> <p>○一度県外に出てしまうと、その場所で住む確率が高いので、県外転出を抑 えるための就職支援や就職の幅を広くすることが大切ではないか。</p> <p>○男女関係なく対話ができる環境づくりが企業、行政、まちづくりの中で大 事ではないか。また、女性が活躍できる場所がなく、県外へ転出すると思 うので、若い女性がまちづくりに取り組むことが、このまちの一員になり たい、と思うきっかけになるのではないか。</p>	<p>政策・方針決定過程への女性の参画拡大のために、県が設置する審議会等の 委員への女性の登用促進などに取り組んでおります。</p> <p>審議会やイベントなどにおいて、登壇者や発言者等の性別に偏りがないう ようにジェンダーバランスを整えることで、女性のロールモデルとなるよう 努めていきます。</p> <p>地元にも魅力的な仕事やキャリア形成を実現できる企業があることを知っ てもらうために、幅広い分野で活躍する女性、管理職として活躍する女性等 の情報発信に取り組んでおり、ロールモデルの見える化をさらに進めてい きます。また、関係部局とも連携し、女性の活躍推進について県内企業への 働きかけや就職支援にも取り組んでいきます。</p> <p>固定的な性別分担意識の解消などを通して、男女が社会の対等な構成員と して、まちづくりなど社会のあらゆる分野における活動に参画することが できる社会づくりを進めるため、意識啓発に取り組んでいきます。</p>
<p>（「女性に選ばれる長崎県づくり」のために必要だと思うこと）</p> <p>仕事を選ぶときは「やりがい」を重視している人が多い。中小企業でも「や りがい」のある仕事ができることを見せていけば、選ばれるまちになる。</p> <p>活躍している女性とまちづくりに参画することが、長崎で生きていくイメ ージにつながる。ロールモデルの見える化やまちづくりの機会が大切。</p> <p>地域活性化のプロジェクトなど、女性がここで働きたいと思える情報をさ まざまなツールで発信することで、女性に選ばれるまちになると思う。</p> <p>就職活動の説明会などでの説明者は男性が多い。そういった中に女性がいた ら自分もこうなりたいと思える。</p> <p>「無意識の偏見」、アンコンシャスバイアスで挑戦できない女性もいる。</p>	<p>「やりがい」を持って仕事ができる中小企業やそこで活躍している女性社員 の情報発信に取り組んでいきます。</p> <p>地域で活躍している女性のロールモデルの見える化に努めていきます。</p> <p>女性が活躍する長崎県という切り口で、女性に選ばれ、働きたい、暮らした いと思ってもらえるよう、戦略的に情報発信していきます。</p> <p>合同企業説明会における説明者などにおいてジェンダーバランスを整える よう企業等へ働きかけていきます。</p> <p>「無意識の偏見」の解消のための啓発に引き続き取り組んでいきます。</p>